

第5回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和3年(2021年)5月31日(月) 18時00分～19時30分
場所	佐久市中込会館 大会議室
出席 (敬称略)	花里 英一, 吉岡 道明, 高見澤 一男, 相馬 栄治郎, 渡辺 仁, 白鳥 敬日瑚, 堀内 ふき, 廣末 恵子, 高橋 功, 吉岡 徹, 中島 瑞枝, 近藤 史章, 新井 晃人, 坂内 裕美子, 山崎 裕史, 山下 純一, 井出 豊彦, 木下 照美, 高橋 利子, 森泉 雄二 (以上20名)
傍聴者	13名
事務局	野沢北高校: 吉澤 教頭(事務局長), 清水 教諭 野沢南高校: 鈴木 教頭(副事務局長), 山口 教諭 県教育委員会: 上原 主幹指導主事, 高野 担当係長, 小林 主任指導主事
当日資料	○次第, 第4回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ, 野沢北高校・野沢南高校資料 同窓会資料

会議事項

- (1) 第4回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて(報告)
- (2) 第3回校地検討部会について(報告)
- (3) 野沢北高校、野沢南高校の実践発表、同窓会意見提案、意見交換

主な内容(要旨)

【野沢北高校実践報告】

- ・「常に疑問を持つ姿勢」を大切にし、探究活動は勿論、答えのない課題への取組を大切にしている。
- ・県立学校未来の学校「スーパー探究校」の指定を受け、地域でコンソーシアムを形成、活動を進めている。
- ・探究的な学びの取組は、自分で考える力、課題解決する力などを育てていく。全学年で取り組んでいる。
- ・探究に関する書籍・資料の充実、コワーキングスペースの設置など、教育環境整備を進めている。

【野沢南高校実践報告】

- ・探究的な学びの目指すところは、PDCAサイクルを行うことで主体的に学ぶ姿勢が身につく、自ら学ぶことから高い学力につながる。
- ・キャリア教育の一環として、卒業生を講師とし、少人数にわかれての講演会を実施。
- ・野沢南高校を発展させる会を毎年開催。生徒の成長が見られる。
- ・医療機関や市役所等での職場体験、夏休み中の出前授業、小論文指導等を行い進路実現を支援している。

【構成員からのご意見】

- 野沢北高校での取り組みを義務教育の学校でも取り入れたい。
 - 探究の時間に限らず、様々な教科で深めていくことが大切。
 - 従来の知識詰め込み型の教育から、新しい教育が加速化している様子が非常によくわかった。
 - 「佐久新校でしか学べないもの」を打ち出すことがとても大切。佐久新校はどこを目指すのか、議論したい。
- ※他地区の進学校や私立高校にない特色を打ち出すことが大切。**

【同窓会からの意見提案】

- ・佐久地域の進学の拠点校としての位置づけを明確にすることが必要。
- ・想像力を磨き学習を支える教員の充実、大学企業等々との連携、時代の最先端に触れ個別最適な学びを支える斬新な施設整備及び教育環境の整備(校地を含めて)が必要。
- ・多様性を生きる心性を身につけたい。

【次回要望】

- ・今までの議論を生かした論点整理など

次回の予定

日時: 令和3年7月29日(木) 18:00～19:30
 場所: 佐久市中込会館 大会議室
 会議内容: 「学びのイメージ」「目指す学校像」について意見交換

